

令和6年度
事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院

I 学院について

【1】基本理念

- 《知育》専門知識を習得し思考力を養うための教育
- 《体育》他者を支援する健康な身体を養うための教育
- 《徳育》豊かな心と優れた感性を養うための教育

【2】教育目的

本学院は、教育基本法および学校教育法に従い、専門職として必要な知識・技能・態度を教授し、あわせて職業倫理をはじめ豊かな教養と人格を涵養し、社会に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

【3】運営方針

〈学院づくり指針〉

- ・穏やかな学院
知的躍動が漲り、医学を習得し育てる学院
- ・健やかな学院
他者を支え、寄り添う幹を伸暢し育てる学院
- ・美しい学院
感性が迸り、倫理観を涵養し育てる学院

〈教育指針〉

- ・全ての学生を適切に指導し、明確な将来像を示し、目標達成に導く
- ・生命の尊厳を尊重し、他者を敬い、多様な社会で協働・協調できる人材を育成する。
- ・問題発見能力と問題解決能力をもつ人材を育成する。
- ・粘り強く、あきらめない心を育み、事故の責任を全うする人材を育成する。
- ・社会性を育み、良き市民として自らを律し、自省自立できる人材を育成する。

〈職員行動指針〉

- ・人間力・教育力・専門力の向上に邁進する。
- ・個々の人格を尊重し、多様性を認め、各々が能力を発揮できる環境整備に努める。
- ・それぞれの専門分野を通し、広く社会に貢献する。
- ・社会の一員に自覚し、良き市民として、職業人として、自らを律し自省自立の精神を持つ。

II 学院の概要

【1】学科、修業年数、入学定員数

課程名	区分	学科名	修業年数	入学定員	総定員
医療専門課程	昼間部	理学療法学科	4年	80名	320名
	夜間部	理学療法学科	3年	40名	120名
	昼間部	作業療法学科	4年	40名	160名
	昼間部	看護学科	3年	80名	240名
教育・社会福祉専門課程	昼間部	介護福祉学科	2年	40名	80名
	昼間部	国際介護学科	1年	20名	20名
工業専門課程	昼間部	デジタルソリューション学科	2年	40名	80名

【2】学生数

学校名	学科名	昼夜	修学年数	学生数 令和6年5月1日現在
九州中央リハビリ テーション学院	理学療法学科	昼	4年	279名
	理学療法学科	夜	3年	64名
	作業療法学科	昼	4年	111名
	看護学科	昼	3年	211名
	介護福祉学科	昼	2年	38名
	国際介護学科	昼	1年	22名
	デジタルソリューション学科	昼	2年	13名

【3】教職員数

	専任	兼任	合計
学院長	1名		1名
理学療法学科（昼）	8名	22名	30名
理学療法学科（夜）	6名	19名	25名
作業療法学科	6名	16名	22名
看護学科	13名	58名	71名
介護福祉学科	4名	19名	23名
デジタルソリューション学科	3名	7名	10名
国際介護学科	1名	1名	2名
事務	12名		12名
法人	7名		7名
合計	61名	142名	203名

IV 学生募集活動

事務職員や専任教員により熊本県内外の高等学校や通信制高校を中心に募集活動を行った。オープンキャンパスは5月18日、6月8日、7月13日・27日、8月3日・17日、11月2日、3月22日と8回にわたり学院で実施し500名近い方が来校されました。また、夜間部を希望する学生のためにナイトオープンキャンパスを開催いたしました。

【1】出前授業

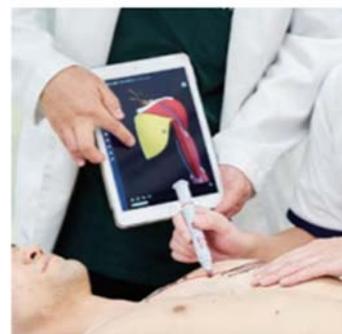
医療・福祉系の職業について広く理解していただけるよう各高校や団体に出前講座を実施した。

日 時	場 所	テーマ
令和6年5月21日	国府高校ガイダンス	進路ガイダンス
6月4日	栄美通信ガイダンス	進学ガイダンス
6月6日	さんぼうガイダンス	進学ガイダンス
6月19日	千原台高校ガイダンス	進学ガイダンス
6月21日	九州学院校内ガイダンス	進学ガイダンス
6月25日	ルーテル学院校内ガイダンス	進学ガイダンス
6月28日	慶誠高校校内ガイダンス	進学ガイダンス
7月3日	マイナビガイダンス	進学ガイダンス
9月18日	さんぼうガイダンス	進学ガイダンス
12月11日	さんぼうガイダンス	進学ガイダンス
12月12日	マイナビガイダンス	進学ガイダンス
令和7年3月7日	国府高校ガイダンス	進学ガイダンス
3月11日	昭栄広報ガイダンス	進学ガイダンス
3月12日	千原台高校ガイダンス	進学ガイダンス
3月14日	熊本商業高校ガイダンス	進学ガイダンス
3月18日	開新高校ガイダンス	進学ガイダンス

V 教育の特色

【1】ICT 活用教育〈作業療法学科・理学療法学科〉

タブレットやアプリを文房具のひとつとして使い、学習意欲を刺激しながら新しいスタイルで効率的に学ぶ ICT 教育を実践しています。3D 画像で人体を学び、動作を分析し、資料を読む。現在最も効率的で分かりやすい学習方法のひとつです。ICT は「知りたい」「身につけたい」にきっと役立つ、現在人に最も適した方法だと考えています。



【2】「スマート介護」～介護 DX と Ude-Sports (介護福祉学科)

今後ますます進む少子高齢化に備え、国は介護分野における ICT 化を強力に推進しています。介護ロボットやセンサーの導入促進や介護報酬での評価を見据えた導入効果の実証・エビデンスデータの蓄積など、普及に向けた取組が動き始めています。Ude-sports (ユ-デー-イー-スポーツ) とは、年齢や障害の有無にかかわらず、だれもが参加でき行うことができる e スポーツです。地域での介護予防・認知症予防のため、熊本が UDe-sports の先駆けとして取り組んでいます。介護福祉学科では、介護ロボットをはじめとしてテクノロジーの効果と実際の介護業務への導入方法や UDe-sports の取組などの基礎を学びます



【3】「スポーツ理学療法学」とトレーナー活動〈理学療法学科昼間部〉

プロスポーツチームのトレーナー、医療機関のスポーツ整形外科など、近年スポーツ分野で多くの理学療法士が活躍しています。なぜ理学療法士がスポーツ分野で活躍できるのか？その答えは理学療法士が高度な専門知識と技術を有しているからです。最近ではスポーツ医科学分野の研究者として活躍する理学療法士も出てきています。当学院にはスポーツ分野を専門とする教員が在籍しており、学生と一緒にスポーツの現場に出向きトレーナー活動などを行っています。将来スポーツ分野で活躍したい方が経験を積めるカリキュラムを用意しています。



【4】チームティーチング&チームラーニング (看護学科)

看護学科は、各学年、複数の教員がチームで担任をしています。学習内容や方法などきめ細やかなアドバイスが受けられ、学生個々のニーズに応じたタイムリーな指導のため教員との信頼関係も築きやすく、学生達の安心感に繋がっています。また、学生達も学校生活を含めチームベースで活動しており、仲間意識はもちろん、学習力や運営・企画力が育ち、同時に看護師に必要な不可欠なコミュニケーション力やチーム力が身につきます。

【5】クリエイティブをプラスした教育（介護福祉学科）

介護福祉学科は、これからの時代のニーズとマッチングを考え、更なる介護業界へ貢献できる科目を新たに設置しました。「エステティックケア」「フォトグラフィー」「ミュージックプロデュース」「エンターテイメント」「マネジメント論」等の授業を行い、子供からお年寄りまで一人一人のニーズに合ったケアの提供や施設・事業所でリーダーシップを取り中核人材としてマネジメントできる人材を育成します。また、留学生も同じクラスで勉強し異文化交流もでき、これからの介護現場でのニーズにも対応します。

【6】地域社会活動

本校は地域社会の健康福祉分野の発展にも奮闘しています。作業療法学科・理学療法学科では「地域作業療法学」「予防理学療法」「地域リハビリテーション学」などで学ぶ知識を活かし、学院周辺にお住まいの方を対象に「健康教室」などを開催しています。また、健康分野の指導者養成の一環として、健康運動指導士・健康運動実践指導者講習会への講師派遣など、地域に根ざした活動を幅広く展開しています。さらに、熊本市スポーツ財団が主催する、様々な医科学セミナーや指導者養成講習会にも本校教員と学生を派遣しています。介護福祉学科では、介護従事者・介護サービス利用者及びその家族などを取り巻く、地域社会における支え合いや交流する観点を学びます。その内容をもとに、毎年「介護の日」イベントや地域での介護予防プログラム、施設へのボランティア参加を通して地域貢献活動を行っています。



【7】取得可能ライセンス

レッドコード・ベーシックコース修了証

〈理学療法学科〉

Redcordを用いた治療方法を学ぶことができます。授業の中で基本となるベーシックコースを受講することができ、受講者はコース修了証を取得することができます。



福祉住環境コーディネーター

〈作業療法学科・理学療法学科・介護福祉学科〉

医療・福祉分野の知識を活かした住環境コーディネーターは住環境を改善するアドバイザーとして分野にとらわれず幅広く活躍可能です。



認知症ライフパートナー

〈介護福祉学科〉

認知症の方の生き方・価値観を尊重し、本人や家族のサポートをしていくことが主な役割です。様々なアクティビティを活用しながら心身の機能や生活の質を高めるために支援していきます。



UDe-スポーツ協会認定書

〈介護福祉学科〉

UDe-スポーツ協会の講習を受講し認定証を取得することで、地域や施設でサロンを開きe-スポーツイベントを開催することができます。



VI 就職に関する取り組み

7月25日～26日と9月28日～29日にわたり、当学院の実習受け入れ医療機関等にご案内し、就職説明会を開催。県内外の医療機関の人事担当者やリハの責任者による施設の特色や就業環境、待遇などの説明が行われた。

参加医療機関

熊本県内 76 施設 九州圏内 17 施設 関西圏内 8 施設 関東圏内 37 施設

就職状況

区分	令和6年度					求人状況
	卒業生	就職希望者				
		総数	就職先			
			県内	県外	県内就職率	求人数
理学療法学科	58	56	44	12	78.6	2148
理学療法学科夜間部	20	16	12	4	75.0	
作業療法学科	35	30	25	5	83.3	1796
看護学科	69	66	56	10	87.9	4980
介護福祉学科	17	15	15	0	100.0	548
合計	199	183	152	31	83.1	9472

VII 国家試験合格率

2024年1月～2月にかけて国家試験が実施され、優秀なる結果を残すことが出来ました。

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
理学療法士	60名	59名	98.3%	95.2%
作業療法士	16名	14名	87.5%	91.3%
看護師	59名	58名	98.3%	93.2%
介護福祉士	26名	21名	80.7%	71.5%

VIII 九州中央リハビリテーション学院 自己点検・自己評価

1. 学校の教育目標

- ・各専門分野において必要な知識・技能を習得し、実践的スキルを身につけることを目指します。
- ・保健医療福祉チームの一員としての役割と責任を果たす能力を育てます。
- ・コミュニケーション能力を持ち、他者と協調し、自己責任の全うできる人材を育成します。
- ・それぞれの分野における専門職業人としての倫理観を持ち、自己研鑽に努める能力を育てます。

2. 評価項目の達成及び取組状況

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

1 教育理念・目標			評価	エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念・目的・育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）	
1	1	1	4	寄付行為、学則、HP、学生生活のしおり
1	1	2	4	パンフレット、HP、保護者会資料、学生生活のしおり
1	1	3	4	学生生活のしおり、HP、理念等の掲示
1	1	4	4	HP、パンフレット、募集要項
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）	
1	2	1	4	HP.学生生活のしおり、教育課程編成委員会資料、実習の手引き
1	2	2	4	HP,教育課程編成委員会資料、学校関係者評価委員会議事録 理事会議事録
1	2	3	4	パンフレット、HP、シラバス

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

2 学校運営			評価	エビデンス例
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）	
2	1	1	4	基本理念、運営方針の掲示、理事会等議事録
2	1	2	3	基本理念、運営方針の掲示、状況の確認が出来ていない
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）	
2	2	1	3	事業計画書、HP
2	2	2	4	理事会資料

2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）	
2	3	1	寄付行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	4 理事会議事録、運営会議議事録、会議規程
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 組織規程、組織図
2	3	3	組織機能図はあるか	4 組織図、
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか	4 運営会議議事録、学科会議議事録
2	3	5	出退勤管理簿はあるか	4 勤怠管理システム、就業規則
2	3	6	教職員の健康診断がされているか	4 健康診断実施記録
2	3	7	施設整備の保守・管理が定期的に行われているか	4 保守点検管理簿
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか）	
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3 教員名簿、実務経験一覧表
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行なっているか	4 求人票、研修計画記録、面談
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 授業評価アンケート、評価結果分析
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	4 運営委員会議事録、HP、SV 会議議事録
2	4	5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 FD 開催議事録、研修成果報告
2	4	6	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	3 職部分掌による担当者を中心とした研修会参加、資料作成
2	4	7	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	3 実施されているが面談記録なし
2	4	8	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	3 研修報告・会議議事録資料
2	4	9	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	3 教務分掌、研修報告書が作成されていない
2	4	10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3 情報交換はされているが定期化されていない
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）	
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	4 就業規則、業務規程
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	4 給与規程、退職金規定、賞与規定

2	5	3	昇給・昇格制度は文章化されているか	4	給与規程、
2	5	4	採用制度は文書化されているか	4	職員採用規程
2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）		
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	4	ワークフロー、出席システム、教務システム

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

3 教育活動				評価	エビデンス例
3	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）		
3	1	1	教育目的及び育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4	HP, 学生生活のしおり、学校案内、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラムマップ、カリキュラム、学校案内
3	1	3	教育目的及び育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	4	HP、学生生活のしおり、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）		
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムマップ、シラバス
3	2	2	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4	シラバス、実習の手引き
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	HP、シラバス（コマごとに表記）
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示されて（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	4	HP、シラバス（コマごとに表記）、授業評価
3	2	5	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	4	HP、授業評価、結果公表資料
3	2	6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	3	定期的な実施がなされていない
3	2	7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	4	HP、授業評価（アンケート、結果）
3	2	8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	3	フィードバックし各自改善
3	2	9	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム	4	年度末に各学科にて内容の検討を行っている

			作成委員会等)		
3	2	10	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたその意見を取り入れているか	4	教育課程編成委員会によってカリキュラムの検討は行われている
3	2	11	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	シラバス、
3	2	12	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4	カリキュラムマップ、実務家教員シラバス、臨床実習に係る実施計画、手引き
3	2	13	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	4	臨床実習指導者会議議事録、実習報告書
3	2	14	企業・施設等での職場実習（インターシップ含む）があるか	4	実習受諾書、臨床実習指導者会議議事録、実習報告書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）		
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	学生生活のしおり、臨床実習の手引き、成績判定会議資料
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単に認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	学生生活のしおり、保護者会、学年通信
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4	学生生活のしおり、成績判定会議、教務システム
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	4	成績評価規程、シラバス、判定会議資料、評価表、個人別成績証明書
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）		
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	4	目標資格、シラバス、講師概要、成績証明書、卒業証明書、カリキュラムマップ、国試対策計画
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）		
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4	臨床実習承諾書、シラバス、臨床実習の手引き
3	5	2	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	入学前セミナー資料・スケジュール、高校ガイダンス

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

4 学習成果・教育成果			評価	エビデンス例
4	1	中項目	学習成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）	
4	1	1	4	小テスト、中間試験、期末試験成績一覧

4	1	2	学生の学修成果の評価に際して育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	4	学生生活のしおり（成績評価基準、成績評価方法）、科目シラバス
4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）		
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	4	就職実績報告書、学校案内
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	4	学科会議議事録、運営会議議事録
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	4	学校案内、学科会議議事録、運営会議議事録
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	4	HP、学校案内、学内掲示
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）		
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	4	HP（国家試験合格率の履歴）
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	4	HP
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	4	学科会議議事録、年度末報告書
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	4	学科会議議事録、年度末報告書
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	4	HP、学校案内
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）		
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	4	就職求人状況の開示、活動相談

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

5 学生支援			評価	エビデンス例	
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）		
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	4	学生調査書、パンフレット、定期的な個人面談、奨学金制度の開示、学校案内、授業料免除
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）		
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	4	求人票台帳、ホームページ 学校案内、オリエンテーション資料
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）		

5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	4	サポート学生表、職員体制名簿 学生生活のしおり、QRコード
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	4	学生面談記録、個別面談シート 運営会議議事録
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。 生活環境支援体制を整備しているか)		
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制 は整備されているか	4	奨学金説明会資料、パンフレット、学 生生活のしおり
5	4	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康 診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備され ているか)	4	学生生活のしおり、健康診断表
5	4	3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	パンフレット、ホームページ ボランティア活動記録、部活動実績記 録
5	4	4	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のア パート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	不動産会社の紹介、遠隔地学生の家賃 一部補助
5	5	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)		
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況 及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	4	運営会議議事録、職員掲示板
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	4	運営会議議事録
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有され ているか	4	運営会議議事録、学科会議議事録
5	5	4	退学者数を公表しているか	4	学院説明会資料、職業実践専門課程個 別様式4
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)		
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人の ニーズを把握しているか)	4	保護者連絡システム、学科会議議事 録、保護者面談記録
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行って いるか	4	保護者連絡システム、学科会議議事 録、保護者面談記録
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備し ているか)		
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャ リアアップ等について、相談に乗っているか)	4	相談窓口、求人の閲覧
5	7	2	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか (卒業生への講習・研修を行っているか)	3	ホームページ
5	7	3	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備され ているか	4	パンフレット、ホームページ

評価：適切(4)、ほぼ適切(3)、やや不適切(2)、不適切(1)

6 教育環境			評 価	エビデンス例
6	1	中項 目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)	

6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	4	学校設置認可申請書、教室配置図面、時間割、第三者機構評価
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4	図書台帳、資産目録
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4	資産台帳、教育備品の一覧台帳
6	1	4	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	4	掲示物、学生生活のしおり
6	1	5	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	4	教室清掃チェックシート
6	1	6	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	4	点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書
6	2	中項目	学外実習、インターシップ等（校外の実習、インターシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）		
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	学外実習時の実施要綱・マニュアル
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか	4	倫理規定、学生生活のしおり、実習の手引き
6	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）		
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	災害時マニュアル、自衛消防組織図
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	4	消防用設備点検報告書、警備に関する契約書
6	3	3	定期的に防災訓練を実施しているか	4	防火訓練実施報告書
6	3	4	学校における安全管理の整備を行っているか	4	各種設備の点検報告書、災害マニュアル、設備管理の一覧表

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

7 学生の受入れ募集			評価	エビデンス例	
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）		
7	1	1	学生募集活動は、適切に行われているか	4	パンフレット、募集要項、オープンキャンパス資料
7	1	2	入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	4	パンフレット、ホームページ
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格、免許等をわかりやすく紹介しているか	4	パンフレット、ホームページ
7	1	4	学生の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	4	パンフレット、募集要項
7	1	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか	4	パンフレット、ホームページ 学科職務分掌

7	1	6	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	4	学院説明会、オープンキャンパス保護者会資料、パンフレット、募集要項
7	1	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	4	入学前セミナー資料
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）		
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	4	募集要項、ホームページ
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4	入試管理会議議事録
7	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）		
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	4	募集要項、パンフレット
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	パンフレット、オープンキャンパス資料

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

8 教育の内部質保証システム				評価	エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか）		
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	4	リハビリテーション学校教育評価
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	コンプライアンスに関する規程
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規定を整備し適切に運用しているか	4	ハラスメント防止規程
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）		
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	個人情報保護規程
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	4	個人情報保護規程、
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていないか	3	意識づけまで至っていない
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）		
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	3	自己点検自己評価報告書 課題解決まで至っていない
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	4	自己点検自己評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	4	自己点検自己評価委員会

8	3	4	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4	学校関係者評価委員会議事録、委員名簿
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）		
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	3	第三者学校評価
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3	自己点検自己評価改善記録
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	自己点検自己評価改善記録
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3	学校関係者評価改善記録
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	学校関係者評価改善記録
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）		
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程別紙様式 4、HP
8	5	2	自己評価結果を公開しているか	4	自己点検自己評価報告書、HP
8	5	3	学校関係者評価結果を公表しているか	4	学校関係者評価報告書、HP

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

9 財務			評価	エビデンス例
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）	
9	1	1	4	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業報告書
9	1	2	4	予算書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）	
9	2	1	4	予算書、理事会・評議員会議事録
9	2	2	4	収支計算書
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正に行われているか）	
9	3	1	4	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開（室学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）	

9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4	財務諸表、HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4	HP 公開

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

10 社会貢献・地域貢献			評価	エビデンス例	
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）		
10	1	1	4	学院施設使用申請、Charichari ポートの設置	
10	1	2	4	公共職業訓練委託契約書	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）		
10	2	1	4	ボランティア担当職員の設置、自治会活動の援助	

評価：適切（4）、ほぼ適切（3）、やや不適切（2）、不適切（1）

11 国際交流（必要に応じて）			評価	エビデンス例	
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）		
11	1	1	4	事業計画	
11	1	2	4	入館提出書類一式、学籍	
11	1	3	4	留学生の規則	
11	1	4	4	留学生の規則、JLPT 対策及び評価	